

エキサイティングバロック2

バロック時代の音楽はカンタータやオラトリオなど宗教的用途のために作曲された作品も多いのですが、また劇場や宮廷の広間で演奏されたり、あるいは踊られることを前提として作られた世俗の楽曲も数多くあります。「音楽の父」とも呼ばれるバッハも、直接にダンス用というわけではありませんが、オーケストラ曲の《管弦楽組曲》には様々な楽しい舞曲が入っています。当時は貴族のたしなみとして、ダンスを踊ることが社交上まず必要で、そのような社会的背景が作品に反映されていると言えます。今年はバロックダンスの湯浅宣子さんをお迎えして、バッハの「管弦楽組曲 第1番ハ長調」に、歴史的考証を基にしたバロックダンスのステップを新たに振り付けていただき実際に踊るといふ、極めて意欲的なプログラムをお届けします。

ルイ14世に代表されるフランス・ヴェルサイユ王朝の宮廷文化、しかしそれをドイツを一度も出たことの無かったバッハが、なぜそれらの舞曲をそもそも知っていたのか、歴史の秘密にもせまります。また、バロック音楽の伝播と興隆について、イタリアの作曲家アルビノーニの協奏曲や、今年生誕350周年を迎えるフランスの作曲家クーブランの室内楽曲についても取りあげます。東海地方で活躍するバロック音楽のエキスパートの皆さんの精気溢れる演奏もどうぞお楽しみに！（石田 正）



バロックダンス
湯浅 宣子

立教大学卒業。

英・米・国、スペイン他にてバロックダンスをK. ピアース、A. イエベス、P. ウェイト、B. シーガル、T. ベアード、P.W. ボーグスに、ルネサンスダンスをP. ディクソン、D. クリックジャンクに、古典マイムを S. ボーデンに学ぶ。英国他海外のダンス公演に毎年出演。2004～2016年、英国他よりダンサー、演奏家を招き、日本公演ツアーを企画、出演。2013年度英国ケンブリッジに在住し、歴史舞踏とフォークダンスの調査・活動を行う。国内各地、香港等でルネサンス、バロックダンスを講習、舞踏・衣装史に関する講演、舞台衣装を公証、デザイン、製作。近年、琵琶や義太夫の語りとルネサンスダンスによる舞台作品を制作。CD「ムルシア：スペイン宮廷のフランス舞踏曲集」を製作、解説。平成24年度「岡山県芸術文化賞功労賞」受賞。エリザベト音楽大学、岡山県東高校音楽科、姫路市立パルナソスホール他バロックダンス講師。英国アソシエーション、欧州舞踏史学協会会員。英国ロスティボリ・ルネサンス・ソロダンサー。



オーボエ
石田 正

愛知県稲沢市出身。名古屋芸術大学音楽学部卒業。

オーボエを山本直人、諸岡研史に師事。バッハアンサンブルナゴヤ、カンタータクラブ名古屋ドイツ公演の一員として、ヘンデル、バッハの二重協奏曲をシュトゥットガルト、ベルリンなどで演奏。2008年アフィニス夏の音楽祭に出演。現在は一宮市消防音楽隊嘱託オーボエ奏者、名古屋ダブルリードアンサンブルのほか、合奏指導も盛んで、名古屋市立若宮商業高校吹奏楽部指導をはじめ、ワインドアンサンブル岐阜、大垣市吹奏楽団、岐阜ドルチェ管弦楽団の各指揮者。



ヴァイオリン
鈴木 崇洋

1981年生まれ。宮城県出身。6才よりヴァイオリンを始め、愛知県立芸術大学器楽科を経て現在に至る。愛知室内オーケストラヴァイオリン奏者。東海バロックプロジェクトメンバー。これまでに、渋谷由美子、渋谷 篤、服部芳子、E. ダネルの各氏に師事。バロック楽器の奏法は、桐山建志、大津 睦、小野万里、高橋 弘治、赤津眞言の各氏に指導を受ける。現在、ヤマハミュージック講師。



ヴァイオリン
廣田 雅史

富山県出身。

愛知県立芸術大学を卒業後、同大学院を修了。ヴァイオリンを岡山芳子、福本泰之、E. ダネル、D. ノーランの各氏に師事。学生時代にバロック・ヴァイオリンに興味を持ち、以来積極的に取り組んでおり、近年は東京やベルギーでも古楽オーケストラの公演に出演。これまで桐山建志、戸田 薫、大津 睦、赤津眞言、S. クイケン各氏から指導を受ける。モダンとバロック、両スタイルの楽器をこなすヴァイオリン奏者として演奏活動をしている。



ヴィオラ
萩野 美和

愛知県立明和高等学校音楽科、愛知県立芸術大学音楽学部卒業。ヴァイオリンを故近藤フミ子、北垣紀子、故久保田良作、進藤義武の各氏に師事。近年古楽器に興味を持ち、バロックヴァイオリン、古楽奏法を宇田川貞夫氏に師事。スペイン・ダロカにおける国際古楽アカデミーに参加、フランソワ・フェルナンデス氏に度々親しく指導を受ける。2006年、バロックヴァイオリンリサイタルを開催、名古屋市市民芸術祭参加。東海バロックプロジェクト、アンサンブル・クロシェットメンバー。現在、愛知県を中心に演奏活動を行っている。



チェロ
高橋 弘治

桐朋学園大学音楽学部卒業、ブリュッセル王立音楽院(ベルギー)古楽器科修了。2001年から2007年まで世界的バロック・ヴァイオリン奏者、シギスヴァルト・クイケン氏率いる古楽オーケストラ「ラ・プティット・バンド」のメンバーとして演奏活動を行う。帰国後は地元の愛知県を拠点に古楽器、モダン、両方のチェロを用いて活発な演奏活動を日本各地で行っている。現在、古楽アンサンブル「ムジカ・レセルヴァータ」メンバー、桐朋学園大学音楽学部附属「子供のための音楽教室」名古屋教室 講師。



コントラバス
伊藤 莊子

愛知県日進市出身。13歳でコントラバスを始める。愛知県立芸術大学卒業。これまでに、青山小枝、田中伸幸、渡邊玲雄氏、坂田晃一氏に師事。東海地方を中心に演奏活動を行っている。



オーボエ
稲吉 沙香

桜丘高等学校音楽科卒業。

くらしき作陽大学音楽学部音楽学科卒業。卒業演奏会に出演。第9回管楽器個人・重奏コンテスト東海大会 中学の部 重奏の部に優秀賞並びに愛知県知事賞受賞。ドルチェアーティストサロン第3回管楽器新人演奏会に出演。第14回浜松国際管楽器アカデミー & フェスティバル修了。蒲郡市吹奏楽団木管トレーナー。ラヨシュ・レンチェス、オットー・ヴィンター、トーマス・ローデ、カレフ・クリュス各氏のマスタークラスを受講。山本直人、菅付章宏各氏に師事。バロックオーボエを尾崎温子に師事。



ファゴット
野村 和代

愛知県立芸術大学音楽学部卒業、同大学院修了。第26回中部読売新人演奏会出演。第143回日本演奏家連盟新人演奏会にて名古屋フィルハーモニー交響楽団とウェンパーのコンチェルトを共演。中日賞受賞。2009、2010年IDRSに響科パズーンカルテット+1として参加、リサイタルを行う。これまでにファゴットを青谷良明、菅原暁、中川良平の各氏に師事。現在、響科パズーンカルテット+1、愛知室内オーケストラメンバー。



チェンバロ
伊藤 真理子

愛知県稲沢市出身。

愛知県立芸術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。東京コンセルヴァトワール尚美ディプロマコース修了。国際芸術連盟新人推薦オーディション合格。ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団員と共演。日仏音楽協会フランス音楽コンクール第3位。フランス総領事賞、関西ピアノ音楽専門学校賞など受賞。21世紀ピアノコンクール第3位。愛知文教女子短期大学非常勤講師。名古屋フランス音楽研究会員。チェンバロを戸崎廣乃氏に師事。